

第 3299 図

おおひょうたんぼく

Lonicera Tschonoskii Maxim.
(= *L. Brandtii Franch. et Sav.*)

本州中部の高山帯下部に産する落葉灌木で、高さ2mに達する。若枝は無毛、基はかたい鱗片で包まれ、葉は対生し、柄は長さ1-4mm、卵状長楕円形で両端尖り、長さ5-12cm、巾2-5cm、質薄く殆ど無毛で脈は凹み下面は白っぽい。7月、葉腋から細長い2-5cmの花梗をだし、先に2花がならんでつく。苞は披針形で長さ1-2mm、小苞は円く長さ1mm、萼片は5個、披針形である。花冠は帯黄白色で長さ約1.5cm、筒部は短く下側はふくらみ、上唇は上部4裂し、下唇は線形で垂れる。花柱と花糸下部には毛がある。漿果は2個ならび、紅色に熟す。



すいかずら科

第 3300 図

にっころひょうたんぼく

Lonicera Mochidzukiana Makino

本州中部の深山に生ずる落葉小灌木である。若枝は4角で無毛、基は数対のかたい鱗片で包まれ、芽も4角で披針形である。葉は対生し柄は短く、長卵形又は披針状卵形で先は鋭く尖り、長さ3-10cm、ほとんど無毛で若葉の時は中肋部を除いて暗紫色をおびている。6月頃、葉腋から平たい花梗を出し、先に普通2花をつける。苞及び小苞は小さく長さ1mm許。花冠は唇形で長さ約1cm、白色で後に汚黄色をおび、上唇は浅く4裂し、下唇は広線形で垂れ下がる。雄蕊は5本、花柱には毛が散生している。漿果は2個ならぶがほとんど離れ、紅く熟す。和名は本種が初め日光で発見されたのによる。



すいかずら科

第 3301 図

えぞひょうたんぼく

Lonicera Glehni Fr. Schm.

(= *L. alpigena L. var. Glehni Nakai*)

本州中部以北の山地に産する落葉灌木。若枝は4鈍稜があり、無毛又は細毛がある。葉は対生し、長楕円状卵形で先は尖り、縁や下面には毛があり、長さ5-10cm巾2-5cmある。6月頃、葉腋から長さ2-4cmの長い花梗を出し、先に子房が癒合した2花がならんでつく。苞は披針形で長さ3-10mm、小苞はきわめて小さい。花冠は淡黄緑色で長さ12-15mm、外側には毛なく、筒部は短く下側の基はふくらみ内面に毛があり、上唇は4裂し、下唇は長楕円形で下へ垂れる。雄蕊は5本、糸は黄色である。漿果は2個ほとんど癒着し、紅色に熟す。和名は蝦夷罌粟の意味である。



すいかずら科

おにひょうたんぼく

Lonicera Vidalii Franch. et Sav.

長野、群馬、山梨県などの山地に産する落葉灌木、樹皮はうすく紙状にはげ淡黄褐色となる。若枝、葉柄、葉脈、花梗には細かい腺がある。葉は大体長楕円形で両端尖り、長さ3-8cm、特に下面には立った毛が多い。5月頃、葉腋から長さ1-2cmの花梗を出し、頂に2花をつける。花冠は唇形で初め帯黄白色後淡黄色となり、筒部は長さ5mm余、下側に囊状の距があり、内面にあら毛が生え、上唇は浅く4裂し、下唇は長楕円形で長さ10mm内外、外へ反りかえる。5雄蕊、1雌蕊、花柱には中部以下にあら毛がある。果梗は垂れ下り、2果は下半で癒合し、マユ形で横径15mm内外、7月濃紅色に熟すが有毒である。



すいかずら科

第 3303 図

はまにんどう

Lonicera affinis Hook. et Arnott

暖地の海岸に近い地に生ずる蔓性灌木で、キダチニンドウに似ているが、若い枝の先は柄外はほぼ無毛で葉裏には腺点もない。葉は柄があり対生し、初めから毛が無く、卵形で先は短く尖り、長さ4-10cm幅2.5-5cm、下面は白っぽい。5-6月、葉腋から長さ3-8mmの花梗を出し、先に2花がならんでつく。苞は披針形で長さ2-3mm、小苞は小さく円い。子房は2個ならぶが離れていて、萼片は小さい。花冠は長さ4-6cmあり、咲き初めは白色で後に黄色をおび、筒部は非常に細長く内面には毛があり、上半は両層に分れ、上唇は浅く4裂し、下唇は線形で下へ垂れる。5雄蕊、1雌蕊。漿果は球形で径約7mm、熟すと黒色となり白い粉をふく。



すいかずら科

第 3304 図

べにばなつくばねうつぎ

Abelia spathulata Sieb. et Zucc.
var. *sanguinea Makino*

本州中部のやや高い山地に産する落葉灌木で、枝は繁く分枝して細く赤褐色である。葉は対生し短い柄があり、長卵形又は長楕円形で長さ2-5cm、先は尾状に長く尖り、縁に低い鋸歯がある。5-6月、若枝の先に短い柄をだし、2花がならんでつく。子房は細長く細毛があり、萼片は5個で線形である。花冠は暗紅色をおび長さ2cm内外、下部は細い筒状で上部は鐘状に膨らみ、少し彎曲し、上唇は短く2裂、下唇は幅広く3裂し、内側に橙色の脈状紋があり白毛が生えている。4雄蕊、1雌蕊。コックパネ(ツクパネウツギ)に比べ、高い山地に生じ、枝は赤味が強く、葉の先は長く尖り、花冠は暗紅色でやや小さい。



すいかずら科